

2019年4月23日 全13頁

【最終号】¹

グラフで見る 2019年1～3月の中国経済動向

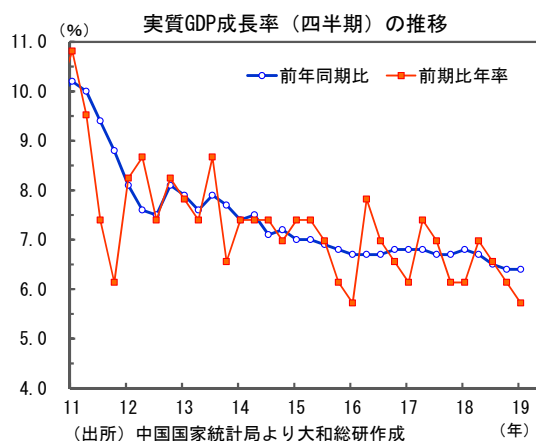
低空飛行が続く消費と減速する輸出、固定資産投資は加速

経済調査部 主席研究員 齋藤 尚登

GDP

- ◆ 2019年1月～3月の実質GDP成長率は前年同期比6.4%（以下、変化率は前年比、前年同期比、前年同月比）と、前期から横ばいとなった。18年1月～3月の6.8%を直近のピークとする成長率の低下に、取り敢えず歯止めがかかったことになる。
- ◆ 1月～3月の6.4%成長に対する需要項目別寄与度は、最終消費支出が4.2%pt、総資本形成が0.8%pt、純輸出が1.5%ptであった。18年の6.6%成長に対する寄与度は、それぞれ5.0%pt、2.1%pt、▲0.6%ptであり、1月～3月は内需の寄与度の低下（18年の7.1%pt⇒1月～3月は5.0%pt）を、純輸出の寄与度の大幅なプラス転換が相殺した。
- ◆ 1月～3月の産業別成長率は、第一次産業が2.7%（18年は3.5%）、第二次産業は6.1%（同5.8%）、第三次産業は7.0%（同7.6%）であった。

実質GDP成長率、需要項目別寄与度



需要項目別実質GDP成長率寄与度

	成長率(累計) %	最終消費支出 %pt	総資本形成 %pt	純輸出 %pt	
2011年	1-3月	10.2	6.1	3.8	-0.1
	1-6	10.1	5.1	4.6	0.1
	1-9	9.9	5.0	4.4	0.1
	1-12	9.6	5.9	4.4	-0.8
2012年	1-3月	8.1	6.4	2.4	-0.7
	1-6	7.9	4.7	4.0	-0.9
	1-9	7.8	4.2	3.9	-0.4
	1-12	7.9	4.3	3.4	0.2
2013年	1-3月	7.9	4.3	2.3	1.1
	1-6	7.7	3.4	4.1	0.1
	1-9	7.8	3.5	4.3	-0.1
	1-12	7.8	3.6	4.3	-0.1
2014年	1-3月	7.4	5.5	3.1	-1.2
	1-6	7.4	4.0	3.6	-0.2
	1-9	7.3	3.6	3.0	0.8
	1-12	7.3	3.6	3.4	0.3
2015年	1-3月	7.0	4.5	1.2	1.3
	1-6	7.0	4.4	2.3	0.3
	1-9	6.9	4.0	2.9	-0.0
	1-12	6.9	4.1	2.9	-0.1
2016年	1-3月	6.7	5.2	2.5	-1.0
	1-6	6.7	4.4	2.9	-0.6
	1-9	6.7	4.3	2.9	-0.5
	1-12	6.7	4.5	2.9	-0.6
2017年	1-3月	6.8	5.5	1.3	0.1
	1-6	6.8	4.4	2.4	0.1
	1-9	6.8	4.4	2.4	0.1
	1-12	6.8	3.9	2.3	0.6
2018年	1-3月	6.8	5.3	2.1	-0.6
	1-6	6.8	5.3	2.1	-0.7
	1-9	6.7	5.2	2.1	-0.7
	1-12	6.6	5.0	2.1	-0.6
2019年	1-3月	6.4	4.2	0.8	1.5

(出所) 中国国家统计局、CEICより大和総研作成

¹ 「グラフで見る中国経済動向」のレポートは今回が最終号となります。今後は、中国経済に関連するトピックスレポートを充実させていく所存です。各種レポートは大和総研のウェブサイトでご覧いただけます。

<https://www.dir.co.jp/report/index.html>

産業別成長率

産業別実質GDP成長率（1月から累計の前年同期比、単位：％）

		実質GDP 成長率	第一次 産業	第二次 産業	工業	建設業	第三次 産業	交通 運輸等	卸売・ 小売等	ホテル・ 飲食業	金融業	不動産業	その他 サービス業
2011年	1-3月	10.2	3.2	11.3	11.5	10.3	9.9	9.3	12.3	4.7	11.6	8.8	9.0
	1-6	10.1	2.9	11.1	11.4	10.0	10.1	9.3	12.3	4.8	11.0	8.7	9.7
	1-9	9.9	3.5	11.0	11.3	9.8	9.9	9.7	12.2	4.9	9.0	8.7	9.8
	1-12	9.6	4.2	10.7	10.9	9.7	9.5	9.7	12.5	5.1	7.7	7.4	9.6
2012年	1-3月	8.1	3.7	9.5	9.4	10.2	7.3	5.7	10.1	6.2	6.8	0.6	8.9
	1-6	7.9	4.3	8.7	8.5	9.8	7.6	5.9	10.0	6.1	8.0	1.2	8.9
	1-9	7.8	4.2	8.3	8.1	9.8	7.8	5.8	10.1	6.3	8.8	3.1	8.5
	1-12	7.9	4.5	8.4	8.1	9.8	8.0	6.1	10.3	6.5	9.4	4.7	8.1
2013年	1-3月	7.9	3.0	7.8	7.6	9.9	8.4	6.4	10.1	3.4	10.9	9.8	7.0
	1-6	7.7	2.8	7.7	7.4	9.8	8.3	6.3	10.3	3.5	10.3	8.6	7.4
	1-9	7.8	3.3	7.9	7.7	9.9	8.4	6.5	10.4	3.7	10.6	8.1	7.5
	1-12	7.8	3.8	8.0	7.7	9.7	8.3	6.6	10.5	3.9	10.6	7.2	7.5
2014年	1-3月	7.4	3.2	7.6	7.3	9.4	7.6	6.0	10.2	5.6	8.6	2.6	8.1
	1-6	7.4	3.7	7.7	7.4	9.5	7.6	6.4	10.1	5.8	8.2	2.5	8.3
	1-9	7.3	4.1	7.6	7.2	9.3	7.6	6.3	9.9	5.8	8.5	2.1	8.4
	1-12	7.3	4.1	7.4	7.0	9.1	7.8	6.5	9.7	5.8	9.9	2.0	8.5
2015年	1-3月	7.0	3.1	6.4	6.1	8.7	7.8	4.8	6.1	5.7	15.3	0.7	8.3
	1-6	7.0	3.4	6.3	6.1	7.0	8.1	4.1	6.0	5.7	17.0	2.5	8.0
	1-9	6.9	3.8	6.2	6.1	6.5	8.2	4.1	6.0	6.0	16.7	3.1	8.3
	1-12	6.9	3.9	6.2	6.0	6.8	8.2	4.1	6.1	6.2	16.0	3.2	8.2
2016年	1-3月	6.7	2.9	6.0	5.7	8.4	7.5	3.4	6.2	7.5	7.0	9.1	7.2
	1-6	6.7	3.0	6.2	5.9	8.2	7.5	4.7	6.6	7.4	5.5	9.0	7.3
	1-9	6.7	3.5	6.3	6.0	7.6	7.5	5.4	6.9	7.2	5.1	8.9	7.2
	1-12	6.7	3.3	6.3	6.0	7.2	7.7	6.6	7.1	7.4	4.5	8.6	7.5
2017年	1-3月	6.8	3.0	6.2	6.3	4.4	7.7	9.1	7.6	8.0	4.1	8.6	7.2
	1-6	6.8	3.5	6.2	6.4	4.5	7.7	9.6	7.5	7.9	3.7	7.9	7.4
	1-9	6.8	3.7	6.1	6.3	4.1	7.8	9.6	7.4	7.8	4.5	6.8	7.4
	1-12	6.8	4.0	5.9	6.3	3.5	7.9	9.4	7.4	7.8	4.4	6.6	7.4
2018年	1-3月	6.8	3.2	6.3	6.5	5.4	7.5	7.7	6.8	7.1	3.1	4.9	6.1
	1-6	6.8	3.3	6.1	6.4	4.5	7.6	7.9	6.7	6.9	3.7	4.6	5.9
	1-9	6.7	3.4	5.9	6.3	3.7	7.7	7.9	6.5	6.7	3.8	4.4	6.3
	1-12	6.6	3.5	5.8	6.1	4.5	7.6	8.1	6.2	6.5	4.4	3.8	6.3
2019年	1-3月	6.4	2.7	6.1	6.1	6.2	7.0	7.3	5.8	6.0	7.0	2.5	5.2

【参考】

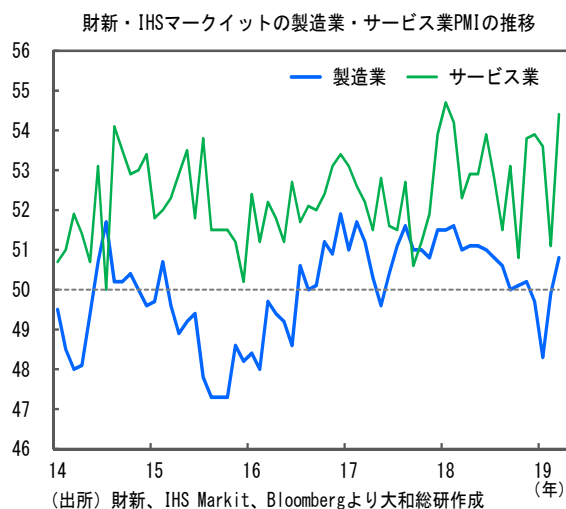
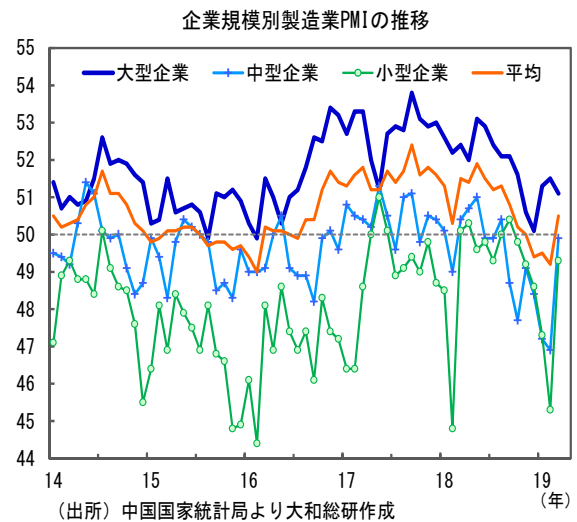
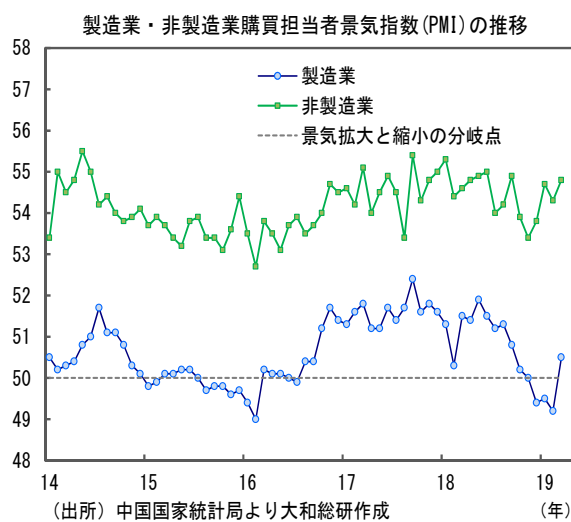
2018年構成比	100.0	7.2	40.7	33.9	6.9	52.2	4.5	9.4	1.8	7.7	6.6	15.5
----------	-------	-----	------	------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	------

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

景況感

- ◆ 中国国家統計局が発表した2019年3月の製造業購買担当者景気指数（PMI）は50.5（2月は49.2）と、拡大と縮小の分岐点である50.0を4ヵ月ぶりに上回った。グローバル景気の減速と米中貿易摩擦問題を受けて、新規輸出受注は18年6月以降、10ヵ月連続で50を下回り、3月は47.1（2月は45.2）となった。3月の非製造業PMIは54.8（2月は54.3）であった。
- ◆ 上記製造業PMIを企業規模別に見ると、大型企業は51.1（2月は51.5）、中型企業は49.9（同46.9）、小型企業は49.3（同45.3）となった。大型企業は50を上回っているが若干低下した。一方、中型企業は7ヵ月連続、小型企業は6ヵ月連続で50を割り込んだが、3月に前者は3pt、後者は4ptの改善を見せた。昨年夏場以降相次いで発表された中小・零細企業向けのサポート強化策の効果がようやく出始めた可能性があり、今後の動きが注目される。

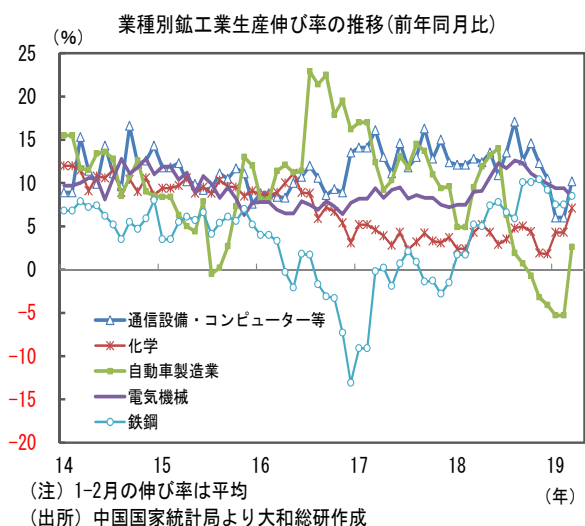
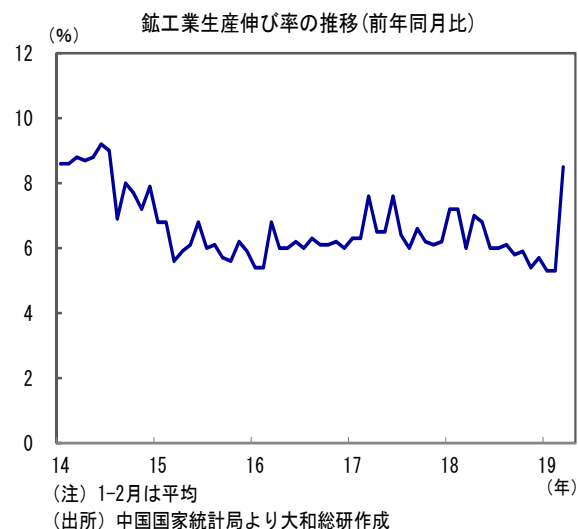
各種 PMI



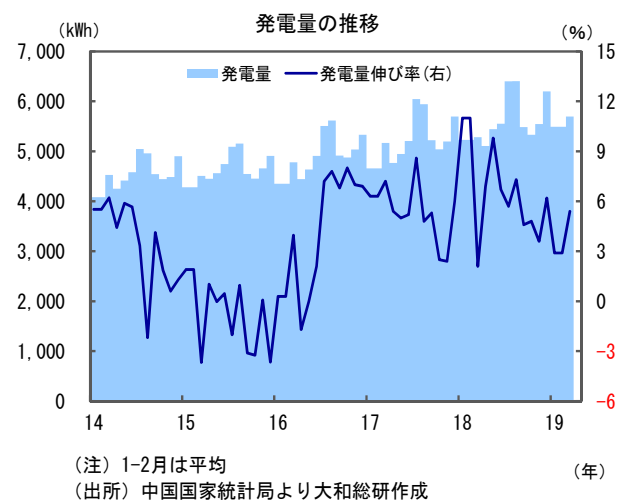
鋳工業生産

- ◆ 国家統計局は春節要因による生産等へのマイナスの影響は旧正月前の4日～5日間、旧正月後の15日～20日間に及ぶとしている。2019年の旧正月は2月5日、18年は2月16日であり、19年はその影響が2月に集中した一方で、18年は3月に跨っていたことになる。19年1月～2月の鋳工業生産は5.3%増に抑制された一方で、3月は8.5%増に上振れをした。1月～3月は6.5%増と、12月の5.7%増から伸び率が加速した。
- ◆ 売上上位5業種の動向を見ると、1月～2月から3月の変化では5業種ともに上振れをしたが、中でも自動車(1月～2月の5.3%減⇒3月は2.6%増)と、電気機械(8.0%増⇒15.2%増)が大きく伸びた。また、昨年12月と1月～3月との比較で、伸び率が加速したのは電気機械(10.1%増⇒11.0%増)、化学(1.8%増⇒5.5%増)、自動車(4.1%減⇒0.2%増)、減速したのは鉄鋼(9.2%増⇒7.9%増)と、通信設備・コンピューター等(10.5%増⇒7.8%増)であった。
- ◆ 1月～3月の発電量は4.2%増と12月の6.2%増から伸び率が低下した。

鋳工業生産



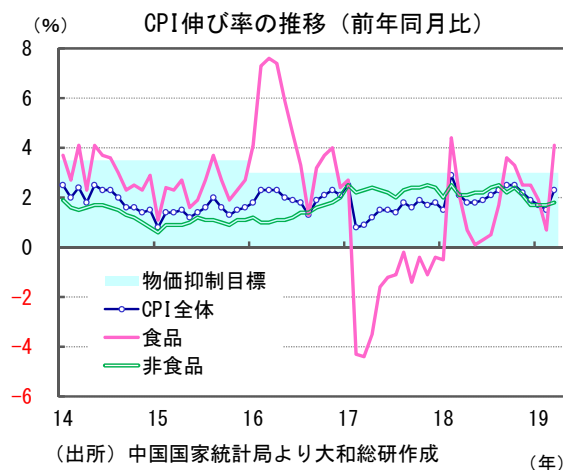
発電量



物価

- ◆ 2019年3月の消費者物価指数（CPI）上昇率は+2.3%と、2月の+1.5%から大きく上昇した。CPI上昇率に対する寄与度は、食品が0.8%pt（2月は0.1%pt）、非食品は1.5%pt（同1.3%pt）であった。1月～3月のCPI上昇率は+1.8%と、政府抑制目標である+3.0%前後を下回って推移している。
- ◆ 3月の食品価格上昇率は+4.1%となり、2月の+0.7%から大きく上昇した。広範囲にわたる低温多雨の影響で、生鮮野菜が+16.2%と大きく上昇し、CPI全体を0.4%pt押し上げた。豚コレラの蔓延による供給不安などもあり、豚肉は+5.1%と、26ヵ月ぶりに上昇に転じた。
- ◆ 3月の非食品価格上昇率は+1.8%（2月は+1.7%）であった。医療保険が+2.7%（2月は+2.8%）、教育文化・娯楽が+2.4%（同+2.4%）、住居が+2.1%（同+2.2%）となり、合計で消費者物価を0.9%pt（2月は1.0%pt）押し上げた。
- ◆ 3月の工業製品出荷価格指数（PPI）は+0.4%（2月は+0.1%）となった。昨年6月の+4.7%を直近のピークに上昇率の低下傾向が続いたが、3月は上向いた。石油・天然ガスなど採掘工業品が上昇幅を広げ、生産財価格は2月の▲0.1%から3月は+0.3%にプラス転換した。

消費者物価

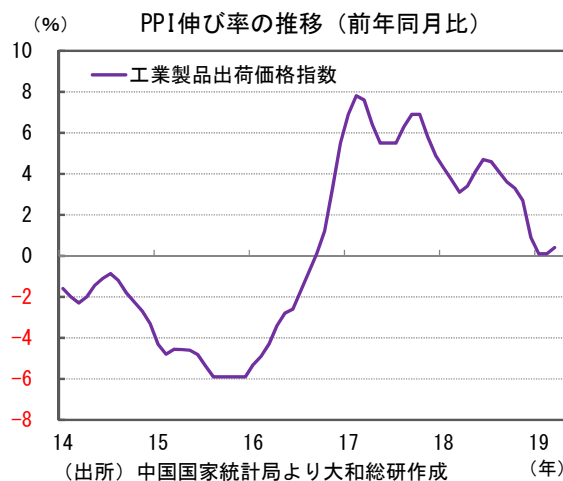


消費者物価指数 分類別伸び率（前年同月比、%）

	CPI	食品	衣服	住居	生活用品 および サービス	交通・ 通信	教育文化 ・娯楽	医療 保険	その他 用品・ サービス
2017/11	1.7	-1.1	1.2	2.8	1.5	1.3	2.0	7.0	1.7
2017/12	1.8	-0.4	1.3	2.8	1.6	1.2	2.1	6.6	1.9
2018/01	1.5	-0.5	1.4	2.7	1.5	0.2	0.9	6.2	1.2
2018/02	2.9	4.4	1.1	2.2	1.8	1.5	3.7	6.0	1.7
2018/03	2.1	2.1	1.1	2.2	1.6	0.3	2.2	5.7	1.2
2018/04	1.8	0.7	1.1	2.2	1.5	1.1	2.0	5.2	0.9
2018/05	1.8	0.1	1.1	2.2	1.5	1.8	1.9	5.1	1.0
2018/06	1.9	0.3	1.1	2.3	1.5	2.4	1.8	5.0	0.9
2018/07	2.1	0.5	1.2	2.4	1.6	3.0	2.3	4.6	1.2
2018/08	2.3	1.7	1.3	2.5	1.6	2.7	2.6	4.3	1.2
2018/09	2.5	3.6	1.2	2.6	1.6	2.8	2.2	2.7	0.7
2018/10	2.5	3.3	1.4	2.5	1.5	3.2	2.5	2.6	1.3
2018/11	2.2	2.5	1.4	2.4	1.5	1.6	2.5	2.6	1.5
2018/12	1.9	2.5	1.5	2.2	1.4	-0.7	2.3	2.5	1.6
2019/01	1.7	1.9	1.6	2.1	1.5	-1.3	2.9	2.7	2.3
2019/02	1.5	0.7	2.0	2.2	1.3	-1.2	2.4	2.8	2.0
2019/03	2.3	4.1	2.0	2.1	1.2	0.1	2.4	2.7	1.9

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

生産者物価



工業製品出荷価格指数の内訳（前年同月比、%）

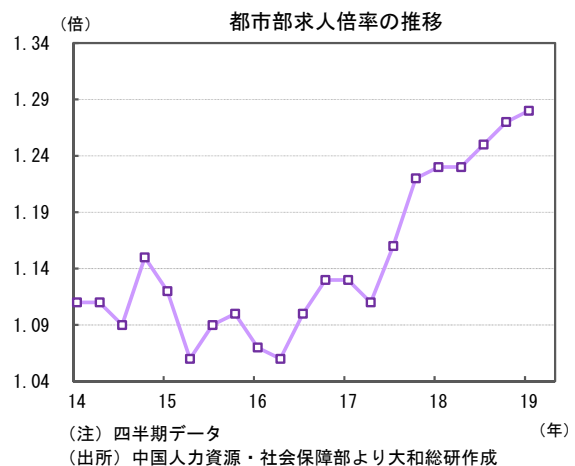
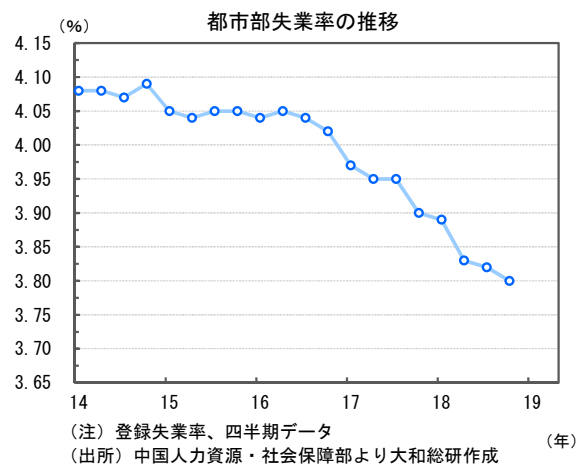
	工業製品出荷価格指数				生活財価格					
	生産財価格	探掘 工業品	原材料 工業品	加工 工業品	食品	衣類	日用品	耐久 消費財		
2017/11	5.8	7.5	10.8	9.7	6.3	0.6	0.4	0.7	1.7	0.0
2017/12	4.9	6.4	9.1	8.1	5.5	0.5	0.2	0.6	1.6	-0.2
2018/01	4.3	5.7	6.8	7.3	4.9	0.3	0.0	0.8	1.4	-0.3
2018/02	3.7	4.8	6.4	5.9	4.2	0.3	0.0	0.5	1.1	-0.1
2018/03	3.1	4.1	5.0	5.1	3.7	0.2	0.0	0.3	0.9	-0.3
2018/04	3.4	4.5	6.1	5.7	3.9	0.1	0.1	0.2	0.9	-0.6
2018/05	4.1	5.4	8.1	7.4	4.4	0.3	0.3	0.3	1.1	-0.7
2018/06	4.7	6.1	11.5	8.8	4.6	0.4	0.7	0.3	1.1	-0.5
2018/07	4.6	6.0	13.4	9.0	4.1	0.6	0.7	0.7	1.1	-0.2
2018/08	4.1	5.2	12.1	7.8	3.5	0.7	0.7	1.1	1.2	0.2
2018/09	3.6	4.6	11.7	7.3	2.9	0.8	0.9	1.1	1.1	0.2
2018/10	3.3	4.2	12.4	6.7	2.5	0.7	0.9	1.2	1.0	-0.1
2018/11	2.7	3.3	9.2	4.6	2.2	0.8	1.1	1.5	0.8	0.1
2018/12	0.9	1.0	3.8	0.8	0.8	0.7	0.9	1.6	0.4	0.2
2019/01	0.1	-0.1	1.2	-1.6	0.3	0.6	0.8	1.6	0.3	0.0
2019/02	0.1	-0.1	1.8	-1.5	0.3	0.4	0.8	1.6	0.2	-0.6
2019/03	0.4	0.3	4.2	-0.6	0.4	0.5	1.2	1.7	0.3	-0.7

(出所) 中国国家统计局より大和総研作成

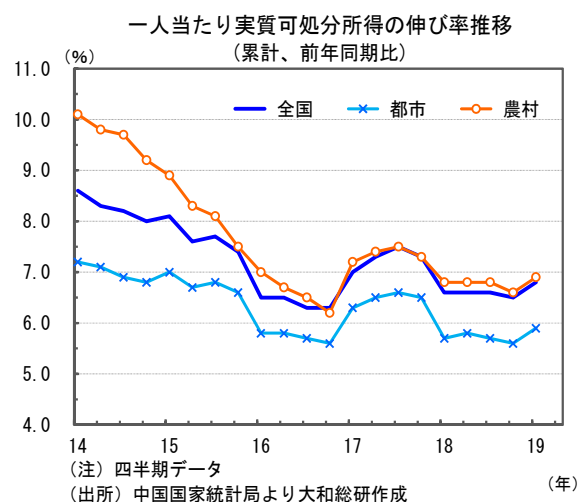
雇用と所得

- ◆ 2019年1月～3月の都市部新規雇用増加数は324万人となった（全人代で打ち出された2019年年間の目標は1,100万人）。
- ◆ 19年1月～3月の一人当たり実質可処分所得は、全国は6.8%増（18年は6.5%増）、都市は5.9%増（同5.6%増）、農村は6.9%増（同6.6%増）となった。いずれも18年から伸び率がやや加速した。
- ◆ 19年3月末の都市部求人倍率は1.28倍と、過去最高を更新した。

失業率と求人倍率



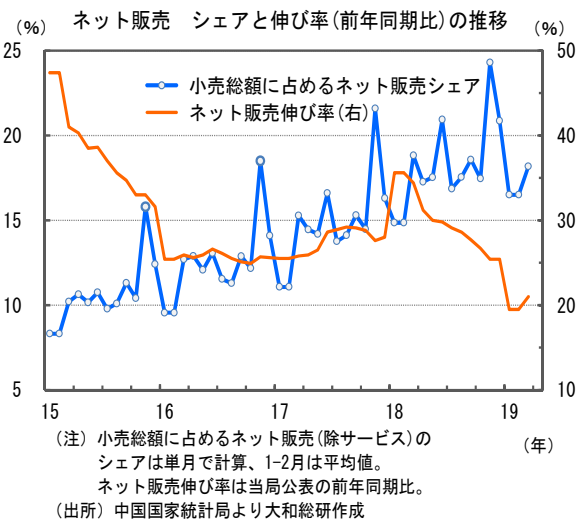
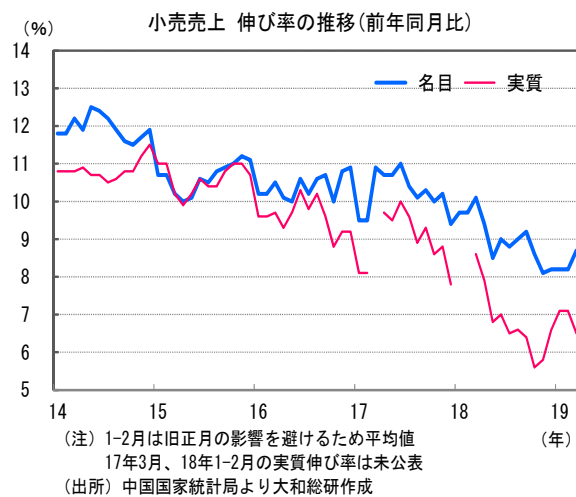
都市部新規雇用増加数の推移、一人当たり実質可処分所得



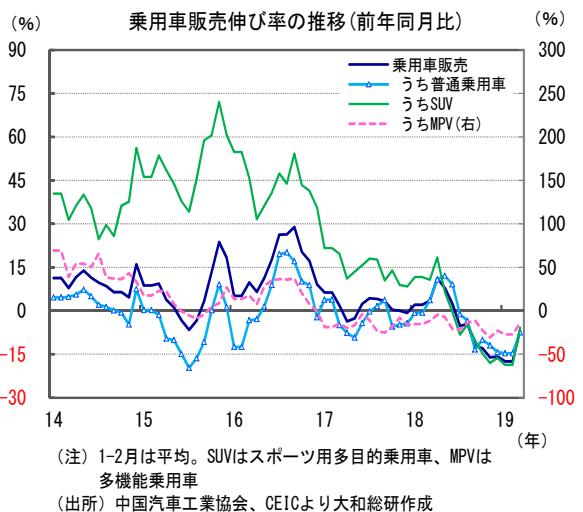
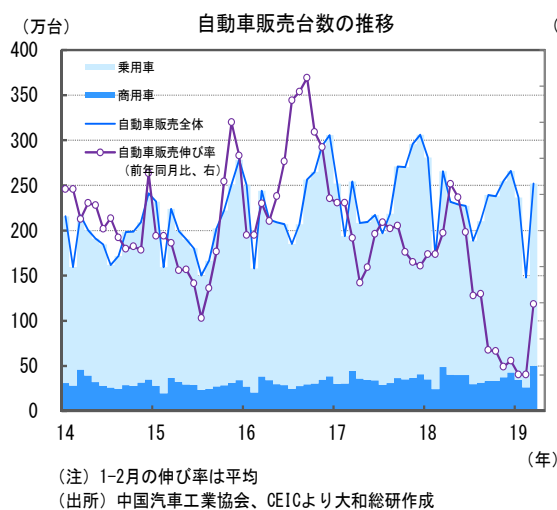
小売

- ◆ 2019年1月～3月の小売売上（名目）は8.3%増となり、昨年11月以降の低空飛行が続いている（18年年間は9.0%増）。1月～3月の実質小売売上は6.9%増と、18年年間と同じ伸び率であった。3月単月は、名目8.7%増、実質6.5%増となった。
- ◆ 1月～3月のモノのネット販売は21.0%増と、18年の25.4%増から伸び率が低下した。1月～3月のサービスのネット販売の伸び率は未発表であるが、金額から計算すると3.0%減となった（18年は18.7%増）。前年同期が38.7%増を記録したことの反動に加え、オンラインゲームの新規認可停止などが影響している可能性がある。
- ◆ 1月～3月の乗用車販売台数は13.7%減の526.3万台（12月は15.8%減）であった。3月単月では6.9%減と、9ヵ月連続で前年割れとなったものの、6ヵ月続いた2桁減からマイナス幅は縮小した。一方で、新エネルギー車の販売は好調を継続しており、18年年間の82.2%増（105.3万台）から、1月～3月は113.3%増（27.6万台）と伸び率をさらに高めた。

小売売上の推移



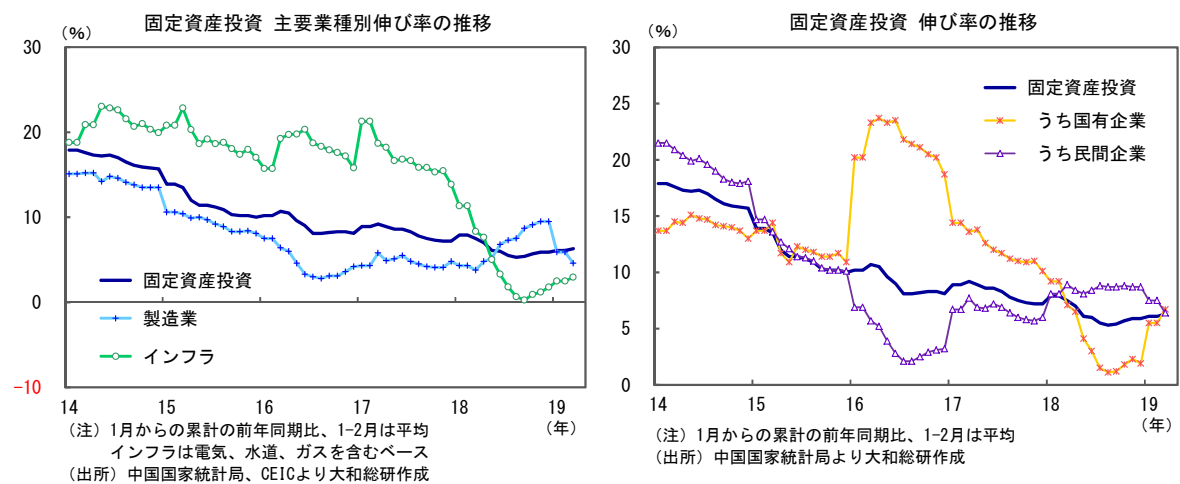
自動車販売



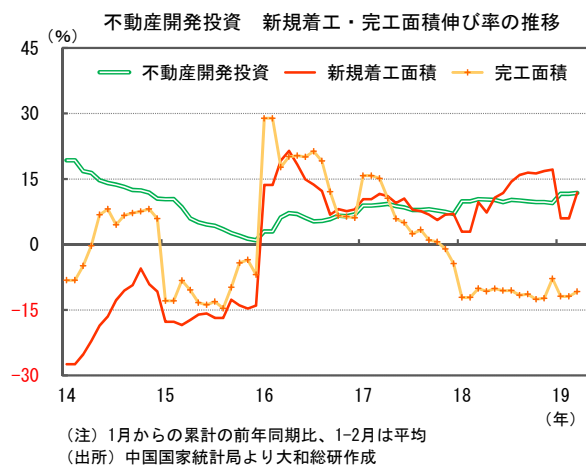
投資

- ◆ 2019年1月～3月の固定資産投資は6.3%増と、18年の5.9%増から加速した。全体の6割強を占める民間部門は6.4%増と、18年の8.7%増から減速した一方で、全体の4割弱を占める国有部門は6.7%増と、18年の1.9%増から回復した。
- ◆ 1月～3月の固定資産投資を主要業種別に見ると、製造業は18年の9.5%増⇒1月～3月は4.6%増へ鈍化した一方で、不動産開発投資は9.5%増⇒11.8%増、インフラ投資（電気、水道、ガスを含むベース）は1.8%増⇒2.9%増に伸び率が上がった。
- ◆ 1月～3月の不動産新規着工面積は11.9%増と、18年の17.2%増から減速した。不動産完工面積は10.8%減と、18年の7.8%減からマイナス幅が広がった。住宅価格は前年比で上昇加速が続いており、住宅価格のさらなる上昇を見越した不動産開発業者が、売り惜しみから完工を報告しないといった行動を選択している可能性がある。

固定資産投資



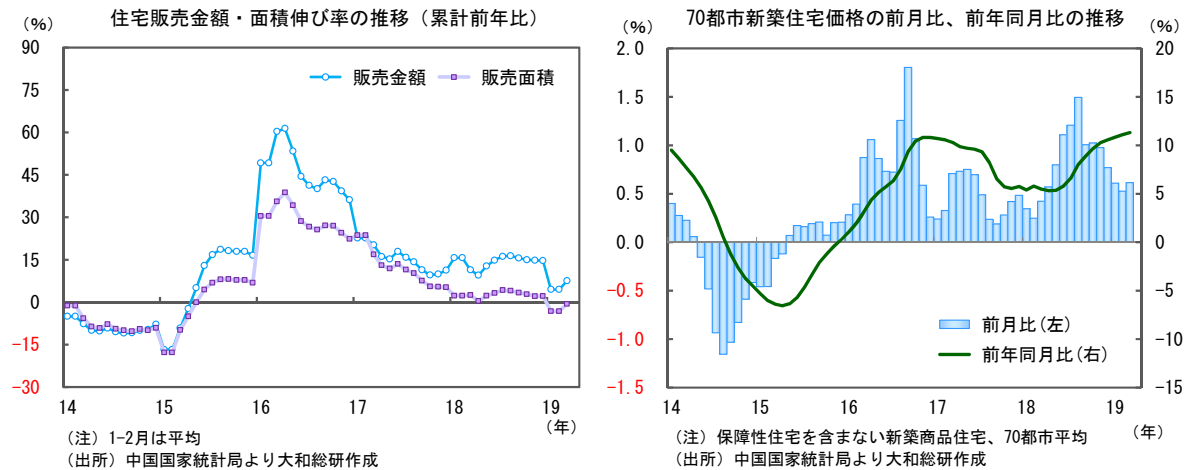
不動産開発投資



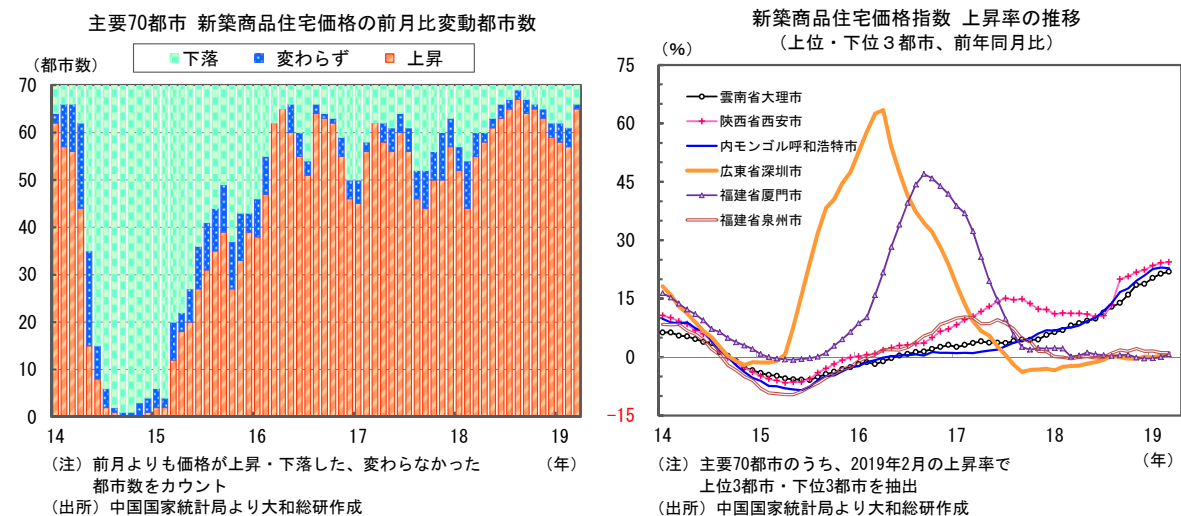
住宅

- ◆ 2019年1月～3月の住宅販売金額は7.5%増と、18年の14.7%増から大きく減速した。住宅販売面積は0.6%減（18年は2.2%増）と前年割れとなった。ただし、販売金額・面積ともに1月～2月のそれぞれ4.5%増、3.2%減から加速、もしくはマイナス幅が縮小している。
- ◆ 3月の主要70都市新築商品住宅価格（平均）は+11.3%（2月は11.1%）へ上昇が加速した。中国政府は住宅価格上昇率が、都市一人当たり名目可処分所得増加率（19年1月～3月は7.9%増）を下回ることを政策的に重視しているが、上昇に歯止めはかかっていない。
- ◆ 3月の住宅価格の前月比は+0.6%となった。前月比は18年8月の+1.5%を直近ピークに低下傾向が続いたが、2月の+0.5%から僅かに上昇ペースが加速した。前月比で上昇したのは65都市（2月は57都市）、下落は4都市（同9都市）、変化がなかったのは1都市（同4都市）となった。18年8月を直近のピークに、前月比で上昇した都市は減少傾向にあったが、3月は大きく増加した。住宅価格の上昇が一段と加速するか、今後の動きが注目される。

住宅販売金額・面積の伸び率推移、新築住宅価格の伸び率推移



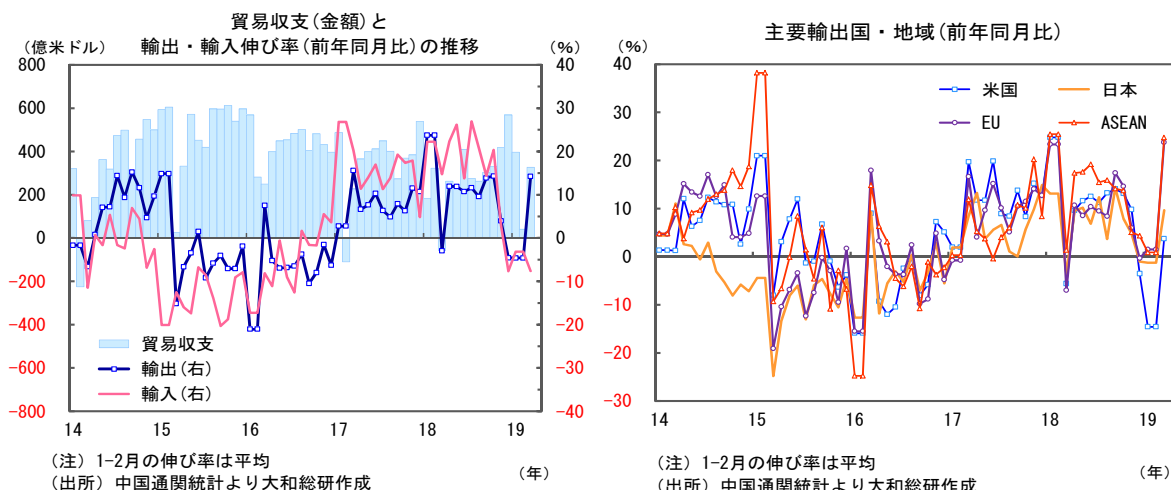
新築商品住宅価格（主要70都市の前月比変動都市数と、前年比で見る上位・下位3都市）



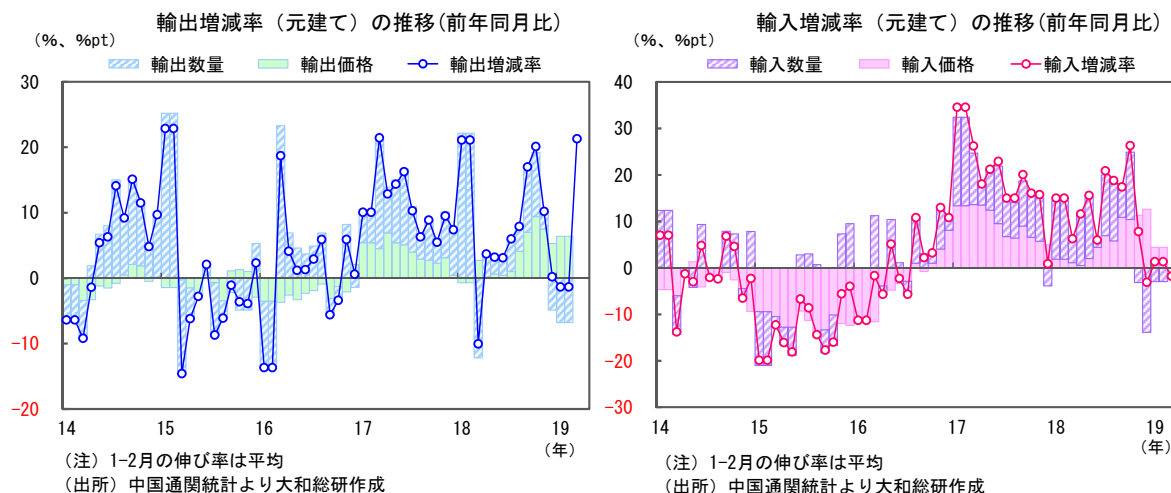
貿易

- ◆ 春節要因は、2019年は2月に集中した一方で、18年は3月初旬に跨っていたため、19年1月～2月のドル建て輸出は4.6%減となったが、3月は14.2%増に上振れをした（1月～3月は1.4%増）。輸入は1月～2月の3.2%減から3月は7.6%減へマイナス幅を広げた（1月～3月は4.8%減）。これは内需の不振、もしくは米中貿易戦争の深刻化の前に積み上げた在庫の調整が行われている可能性を示唆している。1月～3月の貿易黒字は70.1%増の763.1億ドルとなった。
- ◆ 1月～3月の対米輸出（ドル建て）は9.0%減、対米輸入（同）は31.6%減、貿易黒字は7.3%増の625.3億ドルであった。米中間では従来の交渉期限であった3月1日を延長し、その間の追加関税率の引き上げを凍結して、協議が続けられている。米中間では貿易不均衡問題だけでなく、知的財産権の保護、技術移転、非関税障壁、農業、サービス、為替といった構造問題についても継続的に交渉が行われており、今後の協議の行方が注目される。
- ◆ 1月～3月の人民元建て輸出は6.7%増（10月の～12月は8.5%増）、輸入は0.3%増（同9.1%増）であった。

輸出入の推移（ドル建て）、主要輸出国・地域



輸出入の推移（人民元建て）、価格・数量

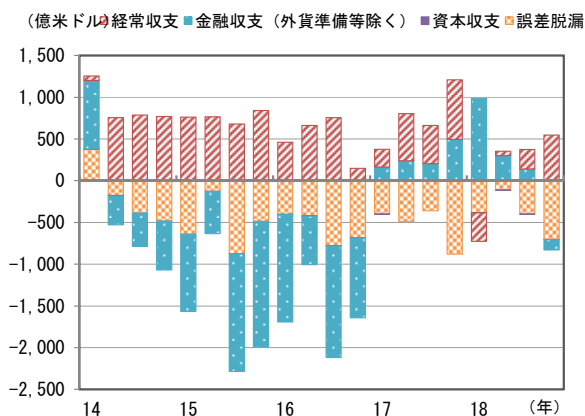


国際収支、外貨準備高

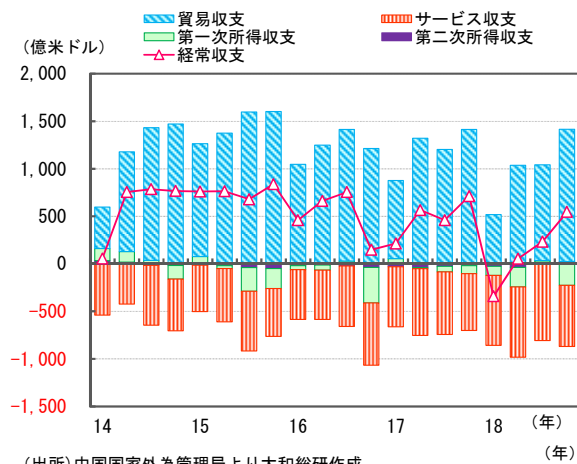
- ◆ 2018年10月～12月の経常収支は546.0億ドルの黒字となり、黒字幅は7月～9月の232.6億ドルから拡大した。金融収支（外貨準備を除く、以下同じ）は122.7億ドルの流出超となり、前期の140.1億ドルの流入超から流出超に転じた。誤差脱漏は703.6億ドルの流出超と、前期の400.9億ドルの流出超から流出額が拡大した。
- ◆ 18年の経常収支は490.9億ドルの黒字となり、黒字幅は17年の1,951.2億ドルから大きく減少した。金融収支は1,305.7億ドルの流入超となり、17年の1,095.4億ドルの流入超から拡大した。誤差脱漏は1,602.0億ドルの流出超と、17年2,130.5億ドルの流出超から縮小した。
- ◆ 1月～3月の中国から海外への対外直接投資（非金融）は1.1%減の252.1億ドル（18年は13.6%減の1,205.0億ドル）と、マイナス幅は縮小傾向にある。1月～3月の対内直接投資（金融+非金融）は3.7%増の358.0億ドル（18年は1.5%増の1,383.0億ドル）であった。
- ◆ 3月末の外貨準備高は前月比85.8億ドル増加の3兆987.6億ドルとなった。増加は5ヵ月連続。ちなみに、18年年間は672.4億ドル減少した。

国際収支、外貨準備高

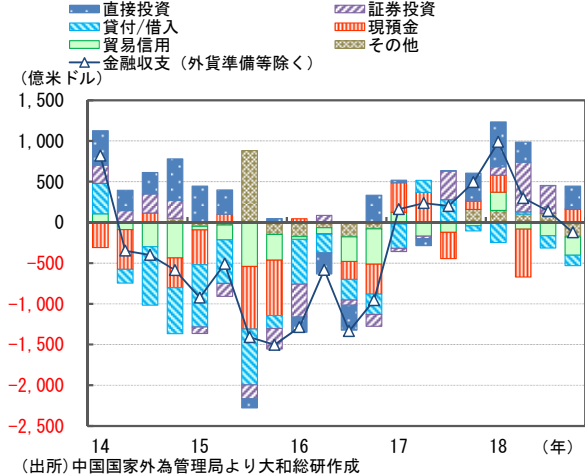
国際収支（四半期）



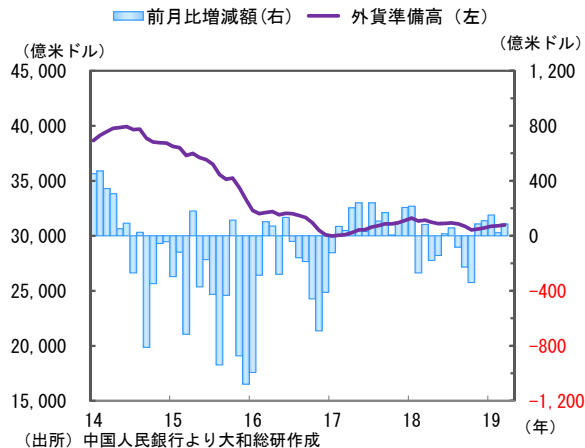
経常収支の推移（四半期）



金融収支の推移（四半期）



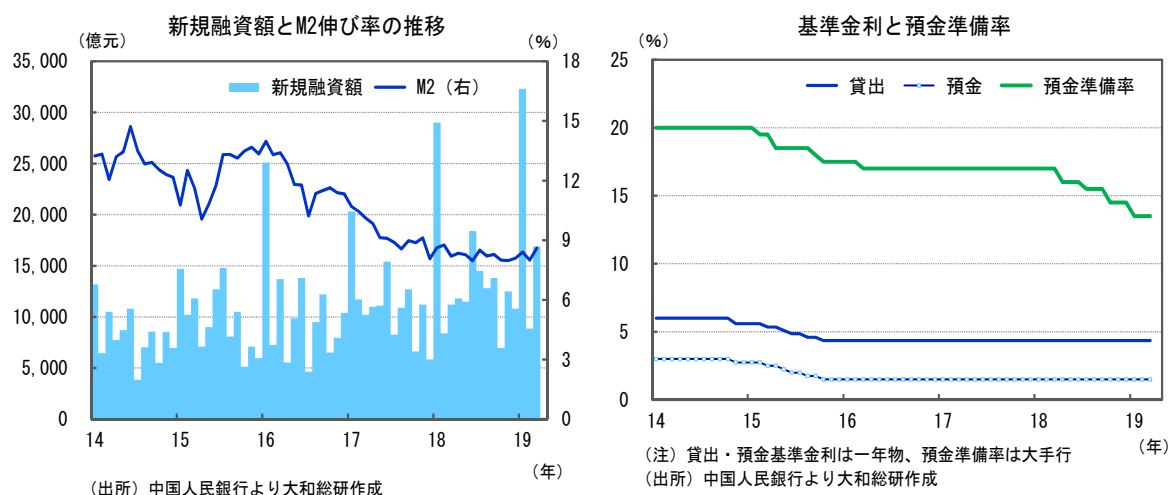
外貨準備高と前月比増減額



金融

- ◆ 2019年3月末のM2伸び率は8.6%と、2月末の8.0%から加速した。
- ◆ 3月末の社会資金調達金額残高は10.6%増の208.4兆円となった。2月末の10.1%増から伸び率は加速した。
- ◆ 1月～3月の社会資金調達金額（フロー）は40.1%増となった。うち大きく増加したのは、人民元貸出と企業債券、地方政府特別債券による資金調達であり、いずれも国有企業を中心とした大企業に恩恵が集中している可能性が高い。民間・中小企業の資金調達の命綱である委託貸出と信託貸出の動きを見ると、1月～3月に信託貸出は純増に転じたが、委託貸出はマイナス幅が縮小したものの、大幅な純減となっている。

M2と金利



社会資金調達金額（社会融資総量）の増減額

	合計	人民元貸出	外貨貸出	委託貸出	信託貸出	未割引の 銀行引受 手形	企業債券	地方政府 特別債券	非金融企業 の域内株式 発行
2017年1月	37,095	23,133	126	3,136	3,175	6,130	▲ 510	0	1,225
2017年2月	11,046	10,317	368	1,172	1,062	▲ 1,719	▲ 1,125	0	570
2017年3月	24,001	11,586	288	2,039	3,113	2,390	129	1,806	800
2017年4月	15,604	10,806	▲ 283	▲ 48	1,473	345	501	2,019	769
2017年5月	13,136	11,780	▲ 99	▲ 278	1,812	▲ 1,245	▲ 2,488	1,934	458
2017年6月	21,131	14,474	73	▲ 32	2,481	▲ 230	▲ 169	1,991	487
2017年7月	14,983	9,152	▲ 213	163	1,232	▲ 2,037	2,621	3,326	536
2017年8月	17,514	11,466	▲ 332	▲ 82	1,143	242	1,137	1,924	653
2017年9月	22,451	11,885	▲ 232	775	2,368	784	1,654	2,517	519
2017年10月	12,004	6,635	▲ 44	43	1,019	12	1,482	1,315	601
2017年11月	19,139	11,428	198	280	1,434	15	853	2,282	1,324
2017年12月	15,865	5,769	169	601	2,245	676	337	849	817
2018年1月	30,793	26,850	266	▲ 714	455	1,437	1,222	0	500
2018年2月	11,894	10,199	86	▲ 750	660	106	644	108	379
2018年3月	15,848	11,425	139	▲ 1,850	▲ 357	▲ 323	3,536	662	404
2018年4月	17,761	10,987	▲ 26	▲ 1,481	▲ 94	1,454	4,047	808	533
2018年5月	9,518	11,396	▲ 228	▲ 1,570	▲ 904	▲ 1,741	▲ 382	1,012	438
2018年6月	14,877	16,787	▲ 364	▲ 1,642	▲ 1,623	▲ 3,649	1,349	1,019	258
2018年7月	12,254	12,861	▲ 773	▲ 950	▲ 1,192	▲ 2,744	2,195	1,851	175
2018年8月	19,391	13,140	▲ 344	▲ 1,207	▲ 688	▲ 779	3,402	4,106	141
2018年9月	21,691	14,341	▲ 670	▲ 1,432	▲ 909	▲ 548	382	7,389	272
2018年10月	7,420	7,141	▲ 800	▲ 949	▲ 1,273	▲ 453	1,476	868	176
2018年11月	15,239	12,302	▲ 787	▲ 1,310	▲ 467	▲ 127	3,127	▲ 332	200
2018年12月	15,898	9,281	▲ 702	▲ 2,210	▲ 509	1,023	3,757	362	130
2019年1月	46,353	35,668	343	▲ 699	345	3,786	4,990	1,088	293
2019年2月	7,030	7,641	▲ 105	▲ 508	▲ 37	▲ 3,103	805	1,771	119
2019年3月	28,600	19,591	3	▲ 1,070	528	1,366	3,276	2,532	118

(注1) 社会資金調達金額の増減額は、金融システムから経済に供給された資金のネット増減額

(注2) 広義のシャドーバンキングは合計から人民元貸出と外貨貸出を差し引いたもの

(出所) 中国人民銀行より大和総研作成

株価と為替

- ◆ 2019年3月の上海総合指数、深圳成分指数はそれぞれ月間5.1%上昇、9.7%上昇となった。年初来ではそれぞれ23.9%上昇、36.8%上昇である（18年年間はそれぞれ24.6%下落、34.4%下落）。米中協議について、3月1日であった交渉期限が延長され、その間は追加関税率の引き上げが凍結されたこと、1月～3月に社会資金調達金額が急増しその一部が株式投資に向かったことなどが、株価急反発の背景である。
- ◆ 3月末の人民元の対ドル基準レートは6.7335元/ドルと月間0.6%の元安、年初来ではドル安の進展を受けて1.9%の元高となっている（18年年間は5.0%の元安）。
- ◆ BISの3月（月中平均）の人民元の実質実効為替レートは、前月比で変わらず、前年同月比では0.1%の元高であった。

株価指数の推移



人民元の対主要国際通貨為替レート、実質実効為替レート

